

(4面から続く)

すが、これまでの地域住民の反応をどのように受けとめているのか、また街区の表示方法や今後のスケジュールについてお伺いします。

**都市部長** 歩行者安全対策については、市道15号線の交差点から市道32号線の交差点間に加え、すりつけ区間として市道相武台71号線までの区間について、歩道設置等の道路改良に向け土地所有者と幾度となる用地交渉を行っていますが、いまだご理解を得る

ことができない状況です。引き続き地権者へのご理解が得られるよう努力してまいります。

相武台地区の住居表示について地域住民の皆様の反応は好意的なものが多くあります。街区表示は、相武台何丁目番号何号と設定します。今後は、平成25年6月末ごろまでに行う現地調査に基づき、8月ごろに新しい住所を付番し、9月に手続等の説明会を行い、10月中旬に住居表示を実施します。

### 子のため、親のため、 中学校給食の早期実施を

吉田 義人 議員 《新政いさま》

現在、全国中学校の完全給食実施率は約80%、未実施はわずか20%、そして市内中学校の保護者の約8割近くが給食導入を希望しています。

中学校給食のあり方検討懇話会の最終報告から既に2年が経過し、給食方式(デリバリー方式)及び導入に際しての試算も示されているものの、未だにモデル校の実施予定すらありません。いったいいつ頃導入されるのでしょうか。

私が給食導入を急ぐ理由は、食育や栄養バランスの重要性、真夏の食中毒防止といったことだけでなく、頑張るお母さん方の働きやすい環境を整えることも大変重要なことだと

と思うからです。厳しい生活状況のなか中学生を抱える保護者は、これから将来にわたって要する多額の教育費と生活費のために寝る間も惜しんで頑張っています。給食の早期導入はこういった生活面でも効果を発揮するものです。給食導入の大きな弊害となっていない点は何か、今後の取り組みを含め当局に伺います。

**教育長** 先生方が給食導入による新たな時間配分を大変心配しています。今後は平成25年度の早い時期に再度アンケート調査を実施し、生徒、保護者、教職員に対しデリバリー給食への理解と認識を深める努力をしてまいります。

### 他市より高い放射線量の 除染基準を改め被曝対策強化を

守谷 浩一 議員 《日本共産党》

市の放射線対応指針では、地表1mで周辺よりも毎時1マイクロシーベルト以上高くないと除染しないという内容

ですが、他市はほとんど毎時0.23マイクロシーベルトが除染基準です。昨年12月議会で私が、県内で本市と同じ

除染基準があるのかと質問したところ、環境経済部長から、県と秦野市との答弁でしたが、秦野市の除染基準は毎時0.23マイクロシーベルトとなっています。これは答弁の間違いなのか伺います。

また、福島第一原発事故の影響で酪農家が自殺といった悲しい話もあります。さまざまな方にこれらの思いをさせた東京電力が本来しっかり対応すべきですが、小さい子どもが放射線に対する影響は強いわけで、秦野市のような除染基準を設定し、空間線量も給食も測定してほしいという市民の声に市が応えるべきと考えますが、見解を伺います。

**環境経済部長** 県内で本市



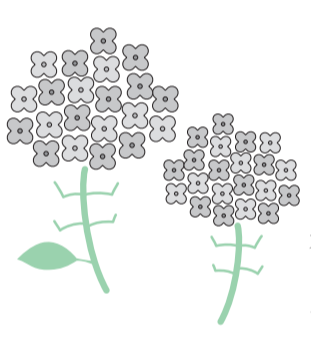
星野 久美子 議員 《日本共産党》

### 誰もが使いやすい 公園トイレに改修を

現在本市には都市公園、多目的広場、子供広場、緑地帯等176カ所の公園があります。その中でトイレの設備があるのが19カ所です。今回調査をして半数以上が和式トイレであることがわかりました。和式トイレは狭く汚れているものが多く、中には30cm程の段差があり利用しにくいものもありました。段差がなくとも高齢者や障がいを持つ人には洋式トイレが使いやすいと考えます。また、ベビーカー等と一緒に入ることができるトイレが非常に少ないとの声もあります。

4月施行の「座間市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例」に従い、和式トイレを洋式(多目的トイレ)

と同じ除染基準であるのは県です。訂正しおわびします。放射性物質汚染対処特措法で、毎時0.23マイクロシーベルトの地域を放射性物質があたり一面に存在する汚染状況重点調査地域としていますが、本市は除外されていて、毎時1マイクロシーベルトが適用されると考えます。



佐藤 弥斗 議員 《さま大志会》

### 健康文化都市の実現を!

高齢化社会を迎え、本市でも医療費は増加の一途をたどっており、財政を圧迫しています。また、本市は生活習慣病の割合が神奈川県平均に比べて多く、特に腎臓疾患が多いという分析がされています。「生活習慣を変えよう」という意識に市民がなるためには、市民の生活の場で「市が健康文化都市を目指している」ということを体感できるように仕組みをつくっていくことが大切だと考えます。そのためには行政・市民・医療関係機関・運動施設・飲食店などが一体となった取り組みをしていかななくてはならないと考えます。市長の健康文化都市の

実現にかけの思いを伺います。**市長** 本市では、市民一人一人が健やかで安らぎに満ちた地域社会を目指して、健康なまちづくりに対する認識を深め、そして地域社会が一体となって健康づくりに努めることを基本としています。この目標の実現及び健康についての意識の高揚を図るために、健康文化都市宣言をし、さらには「ざま健康なまちづくりプラン」を策定し、健康文化都市大学を真ん中に据え、さまざまな健康推進事業を展開しています。今後も種々研究を重ね、これらの事業をさらに深めてまいりたいと思っております。



松橋 淳郎 議員 《さま大志会》

### 県道51号線(行幸道路)の 渋滞問題について

市内を通る県道51号線(行幸道路)は、渋滞がひどいところがいくつかあります。県道51号線と市道との合流地点に関する交通状況の対策について伺います。

大型車の交通量が多い相武台前駅北口の横浜銀行前の交差点は、右折車線がないため、後続の大型車が通れず渋滞になります。また、小田急相模原駅北口では、相武台前から町田方面へと向かう途中のスクランブル交差点においても同様で、渋滞解消のためにどのような対策を講じたかお伺いします。

**都市部長** 相武台前駅前付近においては、交通バリアフ

リー法特定経路に指定され、神奈川県による整備事業が行われています。横浜銀行前交差点に右折レーンの設置を予定し、また、小田急相模原駅北口交差点から200m区間においても、神奈川県による歩道拡幅や右折帯の設置等整備事業が行われており、今後、小田急相模原駅北口交差点にも、渋滞緩和のための右折レーンの設置を予定していると考えております。

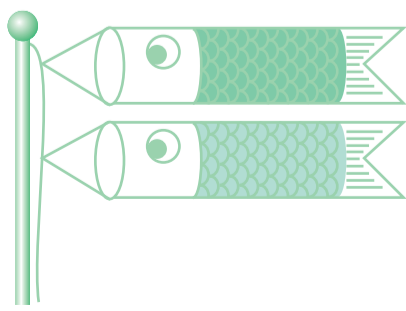
県道51号線の整備により、交通渋滞の解消や歩行者の安全が確保されることから、神奈川県厚木土木事務所東部センターへ引き続き早期竣工を要望してまいります。

### 陳情の結果

3月定例会の各常任委員会で審査した陳情は、次のとおり決まりました。

#### ◎ 継続審査

**陳情第2号** 平成25年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情  
**陳情第3号** 平成25年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情



### 請願・陳情の 提出について

請願・陳情はいつでも受け付けています。3月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会において審査されます。

なお、定例会ごとの締め切り日については、議会事務局にお問い合わせください。  
046(252)8872